

②のとおしなが)書けてる!

① 段落多めの  
(150字が  
平均)

川の歴史について考えるとき、それは水の  
 話であり、緑の話であり、そして土の話でも  
 ある。はせなり、<sup>いんげん</sup>けんなつりか、ていふから  
 た。我が家は、山や川の近くへ、よとキヤン  
 に行く。ある日、キヤンで最で夜中に大雨  
 が降った。となりのサイトは、土だけのサイ  
 トだ。た、そののサイトは水たまりだらけで、  
 テニスがしん水していた。父は必ずキヤンア  
 サイトを<sup>選</sup>ぶことができるときは、<sup>サエ生</sup>サエ生が  
 生えているとニヤダ、<sup>葉</sup>落ち葉が積り重なる  
 川をこのと選ぶ。ちせいのよりな所を選ぶ  
 のが父に聞いた。すると父は、  
 「山の天はは変わりやすいからね。雨が降る  
 とわかるよ！」  
 と笑顔で答えた。芝草落ち葉の積み重なるサ  
 イトを選んで、我が家は、水たまりはなく  
 水たまりはかおいていた。落ち葉や芝草は、ま  
 るてスポンジのよう。水とすいこみ、しん  
 水から守る。たまに、たまに、たまに、たまに



口自然の中での  
と  
思  
ふ  
。 体  
験  
し  
て  
み  
る  
こ  
と  
が  
第  
一